

今まで普通に行ってきたことに多くの制限が生じるようになりました。昨年は本会においても、総会の書面決議、リモートによる運営委員会、クリスマス会と手探りの中で活動を進めてまいりました。今年も「新しい日常」と一緒に生きていかなければなりません。今後とも皆さまのご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。

収束がいまだ見えない中で、日々この難局に向き合っておられる医療関係者の皆さま、介護・支援者の皆さま、教育・行政機関の皆さまに感謝を申し上げます。

直接お会いしてお話を伺う、食事をとりながら会話を楽しむなど、これまで普通に行ってきたことに多くの制限が生じるようになりました。昨年は本会においても、総会の書面決議、リモートによる運営委員会、クリスマス会と手探りの中で活動を進めてまいりました。今年も「新しい日常」と一緒に生きていかなければなりません。今後とも皆さまのご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。



「支える会」事務局

〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
育徳コミュニケーションセンター2階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長 長谷川 幸子
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556
<郵便振替> 00930-9-69598

支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>
メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp
◎様々な御意見・御質問や情報をメール
や掲示板にお寄せ下さい。

全国・各地へリンクあり！

OTK 支える

No.112

大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児（者）を守る会
大阪支部

新年のご挨拶

び申し上げます。

皆様方にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶

本年も皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げます。
大阪府重症心身障害児・者を支える会は、全国重症心身障害児（者）を守る会の「最も弱いものを一人ももれ無く守る」の理念の元、本会においては、重症心身障害児・者が地域において、普通に暮らしこそでいることを目指すという方針に基づき、不十分ながらも多くの方々の力を借りながら活動をしております。

昨年、私たちの暮らしは大きく変わりました。春には新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されました。感染防止には「3密」を避けることが重要であるといわれています。重症心身障害児者の生活を支える上では、「密接」な状態での介助が必要です。この厳しい状況下で支援者、家族の皆さまにおいては、マスクの着用、消毒の徹底、自身の体調管理と普段以上に大変な毎日が続いていることと思います。

これまで普通に行ってきたことに多くの制限が生じるようになりました。昨年は本会においても、総会の書面決議、リモートによる運営委員会、クリスマス会と手探りの中で活動を進めてまいりました。今年も「新しい日常」と一緒に生きていかなければなりません。今後とも皆さまのご指導、ご支援をよろしくお願ひいたします。

守る会三原則

★ 最も親に決して離れてはいけない争いの中
★ 最も派閥を重んじて争うのがいける場ではない
★ 弱い超えることの運動に主張する者はあつて
★ 最も弱い者を守る者はない

全国重症心身障害児（者）を守る会 近畿ブロック報告

例年、近畿ブロックの専門部会、研修会のご案内をしておりますが、今年度は中止となりました。役員会は昨年の10月、12月にリモート会議を試みました。初めてのことで、ネット環境や、パソコン・スマートフォンの設定など詳しい方に教えてもらしながら試行錯誤をしながら取り組んでいます。2、3人で集まって会議に参加する役員、子どものベッドサイドから会議に参加する役員もいます。私はパソコンやスマートフォンの設定から主人にお任せ状態で、なんとか参加しています。外出に困難が多い在宅会員にはとても心強い便利な手段となっています。

今後、専門部会、研修会でもリモートをどのように活用していくかが課題です。

また、昨年度の全国大会が中止となりましたが、今年、令和3年6月に予定されていた全国大会の中止（北海道）も決定いたしました。

皆さんとお顔を合わせ集うことができるまで、小さなことからでも試みて行きたいと思います。（H・S）



※令和3年度の全国大会は
中止となりました。

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからず
お許しを賜りますようお願い申し
上げます。

<郵便振替>
00930-9-68598
大阪府重症心身障害児・者を支える会
<問い合わせ>
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556

2021年

編集・責任者	(事務局) 〒545-0021	大阪市阿倍野区阪南町5-15-128	育徳コミュニケーションセンター2F
F	A X 0	6 1 6	6 6 2 2 4 1 2
T	E L 0	6 1 6	6 2 5 5 5 5
A	X 0	6 1 6	6 4 1 2 5 5
大	郵便振替	座0093	長谷川幸子
阪	番	0093	9 8
府	番	0093	9 8
重	番	0093	9 8
症	番	0093	9 8
心	番	0093	9 8
身	番	0093	9 8
障	番	0093	9 8
害	番	0093	9 8
児	番	0093	9 8
・	番	0093	9 8
者	番	0093	9 8
を	番	0093	9 8
支	番	0093	9 8
え	番	0093	9 8
る	番	0093	9 8
会	番	0093	9 8

（会員の方は会費の中に含まれています）

発行所 大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒530-10054
大阪市北区南森町二丁目二〇一五〇五
定価五〇円

旧年中はお世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。当事者の皆様はコロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか？令和2年は、残念ながら新型コロナウイルス、一色の年だったと思います。「今年の漢字」では、一位が「密」、上位には「禍」「病」「疫」などとパンデミックを象徴するようでした。日本漢字能力検定協会が発表する一般公募の「今年の漢字」では、一位が「密」、上位には「禍」「病」「疫」などとパンデミックを象徴するようでした。今年の干支は丑年（牛）です。牛は古くから人間を助け、農作業や運搬などを我慢強く着実に進め、基礎を積み上げる縁起の良い生き物と言われています。コロナ禍の収束には牛のように先を急がず一步一歩着実に物事を進めることが大切なかも知れません。

編集後記

— コロナ状況下の生活（入所のご家族様） —

「コロナ禍の過ごし方」

コロナ禍で先の見えない不安の中、面会が中止になり子供に会えない日々が続いています。

子供の様子が気になり、落ち着かない毎日です。

感染防止の為、外出も禁止になり子供の日常もすっかり変わりました。

子供は重度で医療的ケアも多く、意思疎通も困難で今の状況を理解することはできません。

子供に会って、声をかけ、手を握り、反応や様子を見て、楽しいひとときを過ごし安心して帰るのが日常でした。気になることは、現状の変化に子供がどのように感じているのか。何を思っているのか。気力をなくしてはいないか、等、精神的なことです。

施設の職員の皆様は子供達を守る為に頑張って下さっています。それぞれが感染防止を第一に考え、私達も感染を防ぐ姿勢を示すことが大切だと思います。（Y・H）



「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会
(全国重症心身障害児(者)を守る会の大坂支部)
への入会についてご案内いたします。

【個人会員】 ◎年会費 10,200円

本部会員 及び 大阪支部会員

◎年会費 3,600円

大阪支部会員

【法人・団体会員】 ◎年会費 10,000円（1口）

本部会員 及び 大阪支部会員

【協力会員】 ◎年会費 3,000円（1口）

大阪支部会員(運営資金の協力会員)



— コロナ状況下の生活（在宅のご家族様） —

「コロナ禍での日々」

昨年の今頃は、まさか、こんな一年になるなんて想像もしていませんでした。

はじめは外出はやめておこう。電車やバスは乗らずにステイホーム程度でしたが、緊急事態宣言が出て、ようやく呑気な私もどうなっていくのだろう？いつ収まるのだろう？と不安になってきました。

事業所が休業になり、一番困ったのは娘の水分補給です。食べる事があまり好きではないので水分が足りないと食事にも支障が出てしまいます。家庭ではなかなか飲みません。デイサービスの特定のスタッフさんからしか飲まず、休業になると途端に困ります。そんな事を察して事業所の方から水分補給をするため、毎日二時間程度外出を入れましょと提案して下さいました。大変助かりました。季節も良かったので、人の少ない遊歩道や公園を散歩しながら水分補給をしてもらって気分転換もできました。

今まで特定のスタッフさんからしか食事、水分補給ができなかったのですが、昨年のはじめ頃から複数のスタッフさんも食事、水分補給ができるようになっていたので、日替わりでスタッフさんに来ていただいて外出しました。おかげで食事がスムーズに進みました。そんな事があったからか、今では家でも食事の時だけですが水分が飲めるようになりました。暑かった夏も乗り切る事ができました。

休業が明けてから、短縮だったり、人が多いのでホームヘルプも頼みにくくなり、家にいることが多くなりましたが、毎日デイサービスに通う事で徐々に親も子もコロナ禍での生活にも慣れてきました。

感染対策をしっかりして、うまくコロナと付き合っていこうと一時休んでいた訓練や通院も再開しました。しかし、外出もそろそろ入れてもらおうと思った頃に又感染が増え、季節も寒くなり、人の多さが気にならない屋外への外出ができなくなりました。外出の水分補給は家の食事が食べやすくなるので娘には重要な事の一つです。不安を抱いたまま、お正月休みに入りましたが、なんとか食事も食べててくれて、長期の休みを乗り切りました。

通所が始まり、ヤレヤレと思ったのも束の間、感染者の急増。訓練も休むことになり、通院もなるべく止める方向に舵を取りました。コロナ禍で家にいる時間が増え、ストレスがたまり、娘と仲良く過ごすのは大変な事ですが、娘は毎日通所できているので意外と落ち着いていて、それなりのリズムもできて機嫌良く過ごしています。ただ、訓練に思うように行けず身体の硬さが気になります。このまま続くと不安です。

まだまだ、この先長く続きそうなコロナ。デイサービスが開いててくれる限り、娘はなんとか、この生活を続けていく事ができそうですが、母の「ガマン」がいつまでもつかないのか？事業所のスタッフさんの助けを借りながら過ごしていきたいです。（K・Y）





毎年、大阪ゆとりライオンズクラブさんのご協力の基に続けられています。本当に当事者を含め、親達は感謝しています。今年は、コロナ禍の中、リモート開催となり、準備にご苦労をおかけしたと思います。ピアノ、バイオリン、ギター演奏など、楽しくして頂き、抽選会で盛り上がりました。来年も楽しみにしています。有難うございました。（親）

コロナ禍の中でクリスマスイベントが開催できるというのはいいことだと思う。ただオンラインでのメリット・デメリットを感じた。（相手の反応、やり取り、チャットなど）今回の改善点も含め、次年度もっと楽しい盛り上がる会になればいいと感じた。（ヘルパー）



進行もスムーズにされていて、内容もよく考えられたクリスマス会だったと思います。演奏される方もリモート参加できるのもいいですね。2時間ずっと演奏会なのか想像していましたが演奏会1時間で、あとみんなで繋がって参加された方々のお顔を拝見てきたのも良かったです。

Teamsにも興味がありましたので、いい体験ができました。（親）



毎日、閉塞感に溢れたニュースが放送され三密にならないよう自粛に努めております。今年は難しいと思われたクリスマス会が、オンラインクリスマス会という形で開催し参加させていただきました。皆さんの顔を見るとコロナ禍にあっても創意工夫をして時間を共有できることは大変意義があることだと感じました。（施設職員）



コロナで、たくさんの行事が出来ない中、オンラインという形でこういった催しをしていただき、有難かったです。利用者さんも楽しめていた様子でした。（施設職員）

支える会のクリスマス会に初めて参加させて頂きました。演目もバラエティに富んでいて退屈や間延びしない内容だったと思います。オンラインでの参加でしたが参加していた利用者の方々の表情も笑顔が多かったです。今度は生（ライブ）で参加できたらもっと良いと思いました。（施設職員）



コロナ禍でも、だからこそ、リモートで自宅や生活ホーム、生活介護等々からの元気な様子を見られて安心しました。最後の「きよしこの夜」は、ぶつつけ本番なのに盛り上がって、最高に楽しめました。ゆとりライオンズ様やスタッフ・ヘルパーの皆様、ありがとうございました。（親）

接続が悪かったものの、リモートという形で、毎年行われる行事のひとつができた私たち職員にとっても良かったと思う。（施設職員）

いつものクリスマスの方が楽しい（当事者）



初めてのオンラインクリスマス会

新型コロナウイルスによるパンデミックの渦中、初めて迎えるクリスマス会。支える会では参加者の安全を考慮し、三密を避けるためにオンライン開催を試みました。

個別でインターネットができない方のためにオンラインで繋がれた会場を用意しましたが、インターネットは分からないと見合わせる方もおられました。申込みをいただいた全ての人に応えることができなかつたのは申し訳ないのですが、今年も大阪ゆとりライオンズクラブ様、Sakura Mint 支部様や多くの皆様のご協力をいただき、おかげさまで無事開催することができました。心より感謝を申し上げます。

当会長谷川会長、大阪ゆとりライオンズクラブ岡田会長の挨拶に始まり、最初に山田ゆかり先生のピアノ演奏。お馴染みのクリスマスソングや大流行した鬼滅の刃を演奏いただき盛り上りました。続いて、母子のバイオリンアンサンブル。「米津玄師 Lemon」や「千と千尋の神隠し 主題歌 いつも何度も」などの楽曲を奏でられると口ずさむ方が見受けられました。娘さんの智香さんは、小学生の頃より出演し、なんと5年連続演奏をしてくれています。次に楽しい掛け合いが魅力の串島さんコンビ。ボーカルの美声とカッコいいギターでYouTube 再生回数1億回以上記録の「瑛太 香水」を演奏。そして、参加者の皆さんのが楽しみにしているプレゼントの抽選会。流石にbingoゲームではありませんでしたが、会場より届けられる幸運の女神が誰に微笑むか、参加者の皆さんへの期待が画面越しにでも伝わりました。続いて、オンライン先より参加者の御様子が届けられ、同じ時間を共有できていることを実感しました。最後に、参加者全員で「きよしこの夜」を合唱。全部のマイクをオンにすると音が割れるという現象もあり、どきどき心配をしながら厳かに歌いきました。

こうして、ひとときでも楽しんでいただきたい、繋がりたい、共有したいというオンラインクリスマス会は幕を下ろしました。（スタッフ 清水）

参加者のアンケートを一部ご紹介させていただきます



しばらく状況が分からずキヨロキヨロされていましたが、その後、曲を聞いて楽しめていました。オンラインで話したり演奏したりしている最中、コメントや質問、感想など主催者にチャットで同時に伝えられたらしいなと思いました。また、もっとやり取りがあれば、参加している感じがより上手く感じられると思いました。（ヘルパー）



今年の支える会のクリスマス会は、年初めより流行した新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、初めてのリモート開催となりました。

どのようにできるのか、不安もあり、わくわく感もあり、当日を迎えました。

私は、障害のある娘とヘルパーさんの3名で参加をしましたが、毎年楽しみにしている、バイオリン演奏やギター演奏は今年もクリスマスの季節がやってきたな、とほっこりさせてもらいました。加えてピアノ演奏の素晴らしい音色にうっとりさせていただきました。ギター演奏と共に、これまた漫談？の巧みなこと。関心いたしました！！

お楽しみの抽選会も娘とドキドキしながら笑顔で一緒に楽しませてもらいました。

心の癒しの補充をいっぱい頂き、ありがとうございます。いつも、身近に見聞きする光景がパソコンの画面を通して迫ってまいりました。

この大阪で、誰しもが大変な時期に、大阪ゆとりライオンズクラブのみなさま方が、重い障害の人たちやその家族のために、楽しいひと時をと趣向をこらして頂き、本当に感謝の思いでいっぱいです。大阪の重苦しい空気を、この1日だけは、光を放ち明るく障害のあるみんなを照らしてくれました。

来年、重い障害のある当事者、家族の皆さん方が一同に会え、元気な姿に出会い、2年分の思いで話しに花を咲かし、、素敵な1日を過ごせるよう、願ってやみません。（親）

大阪きょうだいの会は 巣ごもり中です

情報

ソーシャルネットワークをはじめました。

- ・note
<https://note.com/osakakyodai>
- ・facebook
<https://www.facebook.com/osakakyodai/>
- ・Twitter
<https://twitter.com/osakakyodai>

大阪きょうだいの会例会を奇数月の第4日曜日の午後に10年間定期開催してきましたが、2020年は新型コロナの影響で1月と3月が開催、5月と7月が中止、9月と11月が開催という状況でした。新年の1月と3月は中止の判断をしています。

IT技術に詳しい仲間が大阪きょうだいの会のFacebookやTwitter、noteを立ち上げてくれ情報発信してくれています。この分野に不得手な私は感謝、感謝の連続です。全国各地でオンライン例会も開催されていますので、関心のある方は検索してみてください。感染状況が落ち着いていたら・・・リアル例会を再開予定です。

例会開催時には会場を広い部屋に変更したり、アルコール消毒、換気、マスク、座席の間隔、休憩などに気を配りました。

仲間の近況報告を聞きながら、兄弟姉妹、父親、母親、きょうだい自身・・・それぞれに状況の変化が伺われ、時間の流れをリアルに実感しています。お互いの顔を見ながら語り合っていると、言葉以外の表情やしぐさ、対話の微妙な問合せが「きょうだいあるある話」を盛り上げ、豊かにしてくれています。異世代の人たちと議論や情報交換をするなかで学ばされる事、気づかされる事、刺激され勇気づけられる事が多いです。

私の場合、父が28年前に、母が12年前に他界し、障害を持った3人の弟たち・・・Yが8年前に、Tが5年前に、Uが12年前に、それぞれ亡くなりました。旅立って行った家族と共に過ごした「私のいる風景」が、時おり夢の中で蘇ってきます。時代の波に流され続け、様々な喜怒哀楽を感じながら生きてきた家族の記憶です。

世の中の分断化と対立が進む中で、様々な問題を抱えたマイノリティ（社会的弱者）が孤立せず自らの「普通の暮らし」を維持することはますます難しくなりそうです。当事者の自尊感情が大切にされ育まれるような居場所づくり（きょうだい会の例会もそのひとつです・・・）にこれからも取り組んでいきたいと思っています。

(2020年12月21日 M.M.)

書籍の案内

「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」

— 鏡の向こう側にいるあなたと —

「いつでも、どこでも、誰でも
わかりやすい介護の入門」

岸本 真・小原 英輔 著
重症心身障害介護講習会サポート
チームアクトハウス 編

2010年9月発行
定価 500円（税込）

社会福祉法人
大阪重症心身障害児者を支える会発行

〔 内 容 〕

I はじめに
・この冊子を出したいと思ったいきさつ
・この冊子のねらい
・この冊子が大切にしたいこと

II 重症心身障がい児・者のための
介護技術論入門（8つの扉）
1 寝たきりから見える世界の扉
2 動けない世界の扉
3 接触される世界の扉
4 介助される世界の扉
5 支える扉
6 丸ごとの扉
7 重症心身障がい児者を介助する扉
8 危険の扉

III コラム〈支援の現場から見える風景〉

購入申し込み先・問い合わせ先：

「社会福祉法人大阪重症心身障害児者を支える会」事務局

〒558-0056 大阪市住吉区万代東1丁目3番19号 ゆらっとステーション内

TEL 06-6690-5360 / FAX 06-6696-9955

E-mail: center@sasaeru.or.jp

※ 振込先 : <郵便振替> 00920-8-174979

社福 大阪重症心身障害児者を支える会

※ 1 冊 : 500円（税込送料別途）

※ 送 料 : 1冊の場合 210円 / 2冊～10冊の場合 370円

◎ご購入は下記ご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。

「重症心身障がい児・者の方々への介護入門」申込書、氏名（ふりがな）、
郵便番号、住所、TEL（FAX）、所属など、冊数